



ホンジュラスって、どこ……?!

- ホンジュラス共和国

で、どこ……??

【外務省HPより】

どんな国?!

面積: 日本の約3分の1
人口: 約710万人
民族: ヨーロッパ系・先住民混血91%、
 その他9%(先住民6%、アフリカ系2%、ヨーロッパ系1%)
言語: スペイン語
宗教: 主にカトリック

【外務省HPより】

何がある?!

- 海
- 山
- 遺跡
- ホンジュラス人

おおらか、明るく陽気、親切、おどるおどる!
 時間にルーズ、いいかげん、
 明日は明日の風が吹く……

留年する小学生

【ホンジュラスが抱える問題】

1年生就学率は約90%!
 でも…… 6年生修了率は60~70%。

- 家庭環境
- 学校環境(国内の多くは複式学級)
- 留年制度
- 教員の知識・指導力不足
 (高卒でも先生になれる! 教えることは何でもOK?!)

算数指導力向上プロジェクト

- 1989年より、青年海外協力隊の算数科協力がスタート。
- 2005年に、児童用作業帳・教師用指導書が完成。国定教科書となり、全国配布開始。

「教科書の普及とともに、教員の指導力向上を目指す。」

活動その① 配属先: 米百俵学校

幕末・長岡藩の故事

「米百俵」の精神

～目先の利益より遠くの利益。教育に力を注ぎ、子どもの未来に希望を～

ホンジュラス『米百俵プロジェクト』

日本政府の資金協力により、
全国で百校の公立小学校: 通称「米百俵学校」を増改築する。



愛すべき☆ホンジュラスの学校

【先生】

- 得意技: 手抜き
- 授業中でも携帯・食事
- 子どもにおつかい当たり前

【子ども】

- 得意技: カンニング
- わかってなくても「わかりました！」
- 先生の言うことは絶対。



何をすれば良い? 何ができる?

算数の教科書の普及

教員の指導力向上

学校に教科書が配られていない

やる気がない

教科書にある指導法を教員が理解できない

十分な算数知識がない

算数以前に、授業の仕方自体の改善が必要

言葉の壁!

日本の学校には当然あるけど?

給食代わりのメリエンダ

WFP(国連世界食糧計画)の「学校給食プログラム」の援助のもと、先生とお母さんががんばる学校は、あります。

チャイム代わりの〇〇

あってもなくても、あんまり意味なし。



活動その② 教員対象: 算数研修会

- 地区内の教員を対象に、テーマ別研修会

- ☆ 教科書の内容を理解してもらう
- ☆ 学び合いの場、意見交換の場



たべものたべもの

- 主食: トルティーヤ
- 基本: 油ギッシュ
- のどがかわいたら: コーラ
- お菓子とともに: 砂糖たっぷりコーヒー



いきものいきもの

- にわとり・うし・やぎ・ぶた・うま etc.....
- ホンジュラス式車?



便利・・・とはいえないけど



【日本紹介】も協力隊のお仕事

- 日本文化紹介(隊員仲間と集まって)
- 原爆展
- 所属学校でも、日本紹介



日本の学校ってすごい

- プールも体育館もある! 保健室が! 音楽室が!!
- 教科書がある! しかも毎年全国配布・全員無料
→ 全国の子どもたちが常に同じ内容を学習!
- 先生が教科書の内容を理解している!
- 予定が未定でなく、ほぼ決定!
- みんなよく働く!!

日本って変・・・?

- 急ぎすぎ
- 忙しすぎ・・・「おつかれさま!」?
- 変な緊張感・・・「がんばれ!」??
- 子どもは大人より偉い?!

あたりまえって・・・??

- 文化や習慣のちがい
自分の持ってた「あたりまえ」が覆される。

それでも残る「あたりまえ」は、
人間としての「あたりまえ」・・・??

笑顔

あいさつ

思いやり

日本人として

「次、いつホンジュラスに来るの？」

私は日本人

・・・先進国の人間として、どう生きるか。



協力隊活動:
「現地の人々とともに」

